

## 藤井家板図

この図面は、1787年に木板に書かれたもので、同年に建てられた藤井家の合掌造りの農家を描いたものである。大地主であり名主であった藤井家の富と地位を反映して、特に大きく立派な家であったと思われる。1945年の火災で消失したが、藤井家が保管していた図面などの重要な記録は、母屋から少し離れた蔵に保管されていたために残った。白川では、茅葺きの木造家屋にとって火災は最大の脅威であったため、このような方法がとられていた。